

# 第5学年 国語科学習指導案

5 年 21名  
指導者 宮本浩子

## 1 単元名 情報を科学する 生き方を科学する —〇〇〇〇伝の研究—

共通教材 「ニュース番組作りの現場から」(光村 5年下)  
発展教材 教科書教材を中心とした伝記を人物ごとに数種類

## 2 指導にあたって

### (1) 単元の構想と展開について

本学級の学習者は、本やインターネットを使った調べ学習は好きである。しかし、一つの情報を鵜呑みにし、それを丸写しにすることで満足している姿をよく目にする。複数の情報を比べその真偽を考えたり、一つの情報の背後にある発信者の強い意図を注意深く読んだりすることには目が向けられていないのである。これからの高度情報社会を主体的・自覚的なことばの学び手として生きていくためには、情報を吟味し評価する力が求められる。6月単元「科学者〇〇を科学する」の学習では、科学的読み物の文章構成や表現の中に、筆者の意図が込められていることに気付かせた。表現の奥にある筆者の意図を科学するという読み方への関心が育ちつつある。このことを受け、本単元では、複数の情報を吟味する中で見えてくるものがあることに気付かせたいと考えた。

また、この期の学習者が読書をとおして、様々な人物の生き方に触れ、自身の生き方を考える学習は大きな意味をもつ。しかし、学習者の読書傾向や授業での発言をみると、伝記への関心は低い。そこで、7月単元「ぼくらのプロジェクトX」では、ドキュメンタリー小説風の文章に親しませる中で、いろいろな人物の生き方についての関心を高めた。このことを受け、本単元ではじっくりと伝記を読み味わわせることにより、学習者の読書の世界を広げたい。

本単元では、「情報を科学する」という設定のもと、筆者の意図や文章構成、表現などを読み比べ、自分が心引かれる伝記の特徴を明らかにしていく。その中で、それぞれの作品の意義について吟味する活動や、自分の読みの視点を意識しながら読む経験させたい。さらに、シンポジウムの形で人物ごとにそれぞれの伝記の特徴を発表することにより、自分の解釈や情報をより多面的にとらえることができるようにしたい。

### (2) 教材について

共通教材「ニュース番組作りの現場から」は、情報が、送り手の伝えたいことを中心に構成されることを指摘している。ニュース番組に留まらず、全ての情報がどのように作られているかを示唆するものであろう。「なぜ、一人の人物に対してたくさんの伝記が書かれているのか」という疑問と結び付けながら、伝記が筆者の意図を強く反映しながら描かれていることに気付かせるための資料として活用したい。

学習者が読み広げる教材群は、これまでの教科書に掲載された伝記を中心に編成する。取り上げられたエピソードにかなり違いがあるもの、筆者の異なる意図が見えるもの、様々な描き方がなされているものを中心に選んだ。エジソン、野口英世、福沢諭吉などである。一人の人物について、様々な描かれ方がなされている伝記は、情報を吟味する力を付ける上でも適材である。さらに、年表や写真集、語録(メッセージ集)、自伝など多様な形式のものを集め、より幅広く情報の特徴をとらえられるようにしたい。

### (3) 主体的・自覚的にことばを学ぶための手立て

心引かれる伝記はどれかと問うことにより、主体となって分析していこうとする意欲を高めた。その上で、次の3つの手立てを講じた。

- 前単元で学習した読みが次の単元で生かされるよう構想する。

本単元での読みのモデル学習は、6月単元「科学者を科学する」や7月単元「ぼくらのプロジェクトX」での読みである。前単元で学習した読みを発展させながら繰り返す中で、読むことの力の定着を図りたい。また、どのような読み方をすべきか、自分の読みの特徴はどこにあるかを自覚できるようにしたい。

- 学習の手引きを作成し、複数の読みの視点を示したり、どのように書けばよいか具体的にモデルを示したりすることにより、学習者の読みが深まるようにする。
- 評価の場を位置付ける。—他者とのかわり・学習の記録—

自分の読み取ったことを発表し評価し合う場を位置付けた。友達の発表を評価するとともに、自分

の読みの特徴やよさ、自分らしさなどを自覚する場となるであろう。  
 また、単元の終わりには、その単元の学習の記録を整理し冊子を作る。その単元での学習を振り返り、「はじめに」「後書き」を書く中で、その単元が自分にとってどのような意味があるのかを自覚させたい。

### 3 単元の見目標

#### (1) 学習者の活動見目標

- どのように人物が描かれているか読み取り、シンポジウムをしよう。

#### (2) 指導見目標

- 複数の伝記を読み比べる中で筆者の意図や特徴を明らかにし、伝記の読み味わい方を深めることができるようにする。
- 文章構成やことばの使い方、文末などの表現を手がかりに筆者の主張について吟味することができるようにする。
- シンポジウムの中で、自分との共通点や相違点を考えたり、友達の情報の自分にとっての意味をとらえたり（評価）することができるようにする。

### 4 単元の評価

	評価規準	○「十分満足できる」と判断される状況 ◎「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 【 】は評価資料
読むこと	伝記の特徴や意義、筆者の意図を、いろいろな側面から吟味し見出している。 【読みの質】	○ 伝記の特徴や意義、筆者の意図について、独自の解釈がなされている。自分の解釈を多面的にとらえている。 ◎ 複数の文章を比較するための視点を示したり、モデルとなる考えを例示したりする。 【発表・発表資料・学習の記録】
	複数の文章を、ある視点のもとに読み比べている。読み取ったことを関連づけ、作品の主題を考えている。 【読み方】	○ 複数の資料を読み比べる効果を意識しながら読んでいる。必要な時は読み比べる資料を加えている。 ○ 時には相反するようなことを総合させ、筆者の意図や文章の特徴を一般化してとらえている。 ◎ 共通点や相違点を整理しながら読むことができるよう、比較するための視点を示す。表や色別の付箋紙を使って意識付ける。 【観察・学習の記録】
	文章構成やことばの使い方、文末表現を手がかりに筆者の意図を考えている。 【付けるべき能力】	○ 書き出し、結び、取り上げた内容、挿絵といった様々な視点から構成を吟味している。ことばの使われ方に関する感覚を磨き、文章の味わいを深めている。 ◎ 既習の学習（モデル学習）での読み方が生かせることを助言する。 【発表・発表資料・学習の記録】
書くこと	伝えたいことを中心に、内容や構成を決めて、発表資料を作っている。	○ 構成や表現の効果を意識しながら、発表資料の内容を組み立てている。 ◎ 読むことと書くことが一体となっている学習の手引きを示す。様々な発表資料の具体例を示す。 【発表・発表資料・学習の記録】
話すこと	友達の発表を聞きながら、共通点や相違点を考えたり、友達の情報の自分にとっての意味をとらえたりしている。	○ 多様な友達の意見を総合させながら、全体における自分の位置をとらえている。様々な視点から、友達の情報の意味を考えている。 ◎ 意図的に発表の順番を組み立てたり、板書を工夫したりする。指導者がコーディネーターとしてシンポジウムを進め意図的に声をかける。 【発言・学習の記録】

## 5 単元構想表 (全14時間)

学習活動	学習者の意識の流れ	主な指導・支援	付けるべき能力																			
<p><b>【事前】</b> 一番心引かれる場面はどこか、なぜその場面が心引かれるのかと問いかけることにより、自身の生き方と重ねながら伝記を読むことへの関心を高めておく。</p> <p>1 同じ人物について、たくさんの種類の伝記が書かれていることを知り、学習の方向をつかむ。(2時間)</p> <p>2 「なぜ、その伝記に心引かれるのか」という問いを追究する中で、自分が取り上げようとしている伝記の特徴をとらえる。(5時間) ○自分の選んだ人物についての伝記を読み、心引かれる順に列べる。 ○筆者の意図にどのような違いがあるのか読み比べる。 ○構成にどのような違いがあるのか読み比べる。 ○表現にどのような違いがあるのか読み比べる。 ○自分が心揺さぶられた場面(ことば)やなぜ、その場面が心揺さぶられたかを読む。</p> <p>3 シンポジウムの発表準備をする。(3時間) ○発表資料を作る。 ○発表練習をする。</p> <p>4 人物ごとにシンポジウムの形で発表する。 ○一人の人物についてシンポジウムをする。 ○教室の前と後ろに分かれ二人の人物についてシンポジウムをする。(3時間) <b>【本時 2/3】</b></p> <p>5 学習の記録をまとめる。(1時間)</p>	<p>「ぼくらのプロジェクトX」いろいろな人の生き方を知らせておもしろいな。</p> <p>「科学者〇〇を科学する」文章構成や表現、書かれていないことから筆者の意図が読めるね。</p> <p>同じ人物なのに、たくさんの種類の伝記があるよ。なぜ、たくさんの種類の伝記があるのかな。</p> <p>情報ってどのようにして作られているのだろう。「ニュース番組作りの現場から」を読もう。</p> <p>それぞれの伝記での人物の描かれ方をとらえ、シンポジウムをしよう。「〇〇〇〇伝の研究—情報を科学する— 生き方を科学する —」</p> <p>伝記を好きな順にならべてみよう。 ○一番心揺さぶられる伝記や、みんなに勧めたい伝記はどれだろう。 ○なぜ、その伝記に心引かれるのかな。</p> <p>それぞれの伝記が、どのような意図で書かれているのかな。そのためどのように工夫されているのかな。</p> <p>比べながら読んでみよう。</p> <table border="1" data-bbox="459 1070 954 1160"> <tr> <td>エジソン</td> <td>福沢諭吉</td> <td>野口英世</td> <td>ヘレン・ケラー</td> <td>マザー・テレサ</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="459 1205 954 1451"> <tr> <td> <b>筆者の意図</b> ・筆者の人物観 ・対象、時代の違い(創作意図)         </td> <td> <b>構成</b> ・書き出しや結び ・取り上げた内容 ・登場人物 ・挿絵、写真など         </td> <td> <b>表現</b> ・精粗 ・文体 ・表現描写や心理描写 ・情感的、物語的、理性的、記録的         </td> </tr> </table> <p>伝えたいことを工夫して発信しよう。</p> <table border="1" data-bbox="459 1541 954 1608"> <tr> <td>一番伝えたことは、</td> <td>材料を選び構成を考えよう。</td> <td>どのように表現するか。</td> </tr> </table> <p>人物ごとにシンポジウムを開こう。</p> <table border="1" data-bbox="459 1720 954 1809"> <tr> <td>エジソン</td> <td>福沢諭吉</td> <td>野口英世</td> <td>ヘレン・ケラー</td> <td>マザー・テレサ</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="459 1854 954 1944"> <tr> <td>似ているところは、違っているところは・・・</td> <td>伝記(情報)について見方が変わってきたよ。</td> <td>伝記っておもしろいな。</td> </tr> </table> <p>この単元は自分にとってこんな意味があった。学級文庫に入れる伝記(1冊の本)を選ぼう。</p>	エジソン	福沢諭吉	野口英世	ヘレン・ケラー	マザー・テレサ	<b>筆者の意図</b> ・筆者の人物観 ・対象、時代の違い(創作意図)	<b>構成</b> ・書き出しや結び ・取り上げた内容 ・登場人物 ・挿絵、写真など	<b>表現</b> ・精粗 ・文体 ・表現描写や心理描写 ・情感的、物語的、理性的、記録的	一番伝えたことは、	材料を選び構成を考えよう。	どのように表現するか。	エジソン	福沢諭吉	野口英世	ヘレン・ケラー	マザー・テレサ	似ているところは、違っているところは・・・	伝記(情報)について見方が変わってきたよ。	伝記っておもしろいな。	<p>◀人物ごとに複数の伝記を提示し、どの本を学級文庫として購入したいか選ぼうと声をかけることにより、比べてみようとする意欲を高める。</p> <p>◀同じ出来事を取り上げた新聞記事も、書きぶりが異なっていることを示したくさんの種類の情報への関心を高める。</p> <p>◀伝記の筆者の取材や表現意図と、ニュース番組作りのディレクターの意図とが重なることに気付かせ、同じ人物の伝記を読み比べてみようとする課題意識を高める。</p> <p>◀取り上げ方、表現の仕方など多様な描き方がされている教材、資料を提示し、描かれ方への関心が高まるようにする。</p> <p>◀前単元「ぼくらのプロジェクトX」での読み方(モデル学習)を生かすことができるよう助言する。</p> <p>◀必要に応じて考え方のモデルを示し、どのようなところに着眼しながら読み進めればよいか気付せる。</p> <p>◀学習者の実態に応じて、比べるための視点などを示した個別の学習の手引きを準備し、それぞれの伝記の特徴がとらえられるようにする。</p> <p>◀発表の時間、資料の分量などを知らせる中で、工夫して発信しようとするこへ目を向けさせる。</p> <p>◀まとめ方の例を示した手引きを作成する。</p> <p>◀意図的に発表を組織し、それぞれが読み取ったことを関連付けたり、広げたりできるようにする。</p> <p>◀どのような観点で発表を聞けばよいかを、学習の手引きなどで示す。コーディネーターとして、発表者同士が互いの意見を聞きながら発言できるよう声をかける。</p> <p>◀学習の振り返り活動を継続し位置付ける。</p>	<p>○さまざまな文種の良書や長文を意欲的に読もうとする。</p> <p>○文章構成やことばの使い方、文末などの表現を手がかりに、筆者の主張について吟味する。</p> <p>○一つの文章(伝記)を、別の文章や異なる形式のもの(年表・写真集・メッセージ集・自伝など)に照らして筆者の意図や特徴を考察する。</p> <p>○筆者の意見やテーマについて、自分はどうか意識しながら読む。</p> <p>○目的や意図に応じて内容を要約する。</p> <p>○書く必要のある事柄を適切に取舍・選択しながら、発表資料を作る。</p> <p>○多様な友達の意見を生かし、自分との共通点、相違点を考えた友達の情報の自分にとっての意味をとらえたりしながら聞く(話す)。</p> <p>○話し合いの流れを的確にとらえ、自分の立場をはっきりさせて話す。</p>
エジソン	福沢諭吉	野口英世	ヘレン・ケラー	マザー・テレサ																		
<b>筆者の意図</b> ・筆者の人物観 ・対象、時代の違い(創作意図)	<b>構成</b> ・書き出しや結び ・取り上げた内容 ・登場人物 ・挿絵、写真など	<b>表現</b> ・精粗 ・文体 ・表現描写や心理描写 ・情感的、物語的、理性的、記録的																				
一番伝えたことは、	材料を選び構成を考えよう。	どのように表現するか。																				
エジソン	福沢諭吉	野口英世	ヘレン・ケラー	マザー・テレサ																		
似ているところは、違っているところは・・・	伝記(情報)について見方が変わってきたよ。	伝記っておもしろいな。																				

## 6 本時の学習

### (1) 本時の学習について

本時は、これまで読み比べてきた伝記に、どのような筆者の意図や人物観が表れているのかをシンポジウムの形で報告する。一人の人物を取り上げた前時のシンポジウムを発展させ、教室の前後に2つのグループに分かれてシンポジウムを行う。シンポジウムの中で、多面的な解釈や評価がなされるよう、意図的に発表の場を組織するとともに、互いの考えを深めるためのよい質問や感想・意見が出されるよう手引きしていきたい。また、話し合いの活動を観察するグループを位置付けることにより——単元終了時にはそれぞれが発表者、質問者、観察者を経験する——話し合う中で自分の考えを深めていく力を育てたい。

### (2) 目標

#### ① 学習者の活動目標

人物ごとにシンポジウムをしよう。

#### ② 指導目標

友達の発表を聞きながら、共通点や相違点を考えたり、友達の情報の自分にとっての意味をとらえたり（評価）する活動を通して、伝記の読み味わい方を深めることができるようにする。

### (3) 展開

時間	学 習 活 動	指 導 ・ 支 援
5	1 前時のシンポジウムの感想を話し合う中で、本時の学習の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">人物ごとにシンポジウムをしよう。</div> ・共通点 相違点 ・自分にとっての意味 ・発表をとおして考え始めたこと	1 前時までの学習の記録をもとに、様々な伝記の特徴が発見できたことを紹介し、本時の学習に対する関心を高める。 ○ 関心の低い学習者に対しては事前に声をかけ、めあてを明確にもたせておく。
25	2 教室の前後に分かれて、シンポジウムをする。 前：「エジソン」の伝記（例） 後：「野口英世」の伝記（例） ○ 自分が読んだ伝記の特徴を中心に発表する。 ○ 質問や感想・意見を述べる。 ○ 質問に答えたり、自分の心に刻み込んだことばや場面を述べたりする。 ○ 観察者が、発表者や質問者の発言について考えたことを述べる。	2 自分の選んだ伝記の特徴と比べながら聞くことができるよう、また、伝記や情報についての見方が広がるよう意図的に発表の順を組織する。 ○ 話し合いの中で、各自の読みの特徴を自覚できるように、学習の手引きを示す。 ○ 発言すべきときに発言ができるよう、声をかけたり、発言を促したりする。時には、フロアの一員となって発言する。 ○ 学習者のメモを見て回る中で、どのようなところに目を向けているか把握する。
10	3 観察者が全体の場で、それぞれのシンポジウムの報告をする。	3 黒板に整理しながら書くことにより、伝記のよさやおもしろさにも目が向けられるようにする。
5	4 シンポジウムの中で、気が付いたこと、考えたことなどを学習の記録に書く。	4 意図的に発言させたり、学習の記録を紹介したりする中で、次時の学習への意欲を高める。

### (4) 本時の評価

読むこと と 聞話 くす こと と	友達の発表（質問や感想）を聞きながら、自分との共通点や相違点を考えたり、友達の情報の自分にとっての意味をとらえたり（評価）している。	○ 多様な意見を総合させながら、全体における自分の位置を把握している。様々な視点から、友達の情報の意味付け（評価）をしている。 ◎ 意図的に発表の順番を組織したり、板書を工夫したりする。話し合いの中で、指導者が意図的に声をかける。 【発言・学習の記録】
----------------------------------	--	--